SDGs 達成に向けた宣言書(要件1)

令和 7年 6月 25日

住 所 愛媛県伊予市米湊 856-2
企業名 社会福祉法人エリム会
代表者 理事長 池内 悟

本法人は SDGs の内容を理解し、SDGs 達成に向けた方針及び取組を下記のとおり宣言します。
記

SDGs 達成に向けた経営方針等

1. 職員が SDGs について学び続けるとともに、子どもたちの興味や関心に応じて、SDGs について一緒に考え、取組み、生涯にわたって地球の仲間や環境を大切にする心を培う保育を行う。
2. 誰一人取り残さない園・地域・社会の実現に向けて、地域の抱える課題に目を向け、課題解決のための事業に取り組む。

3側面 (主な分野に○)	SDGs 達成に向けた 重点的な取組み	2030 年に向けた 指標	重点的な取組及び 指標の進捗状況 登録年月日:R4年 7月 1日
環境 社会 経済	「園庭をエディブルガーデンに」「五色浜のプラごみ拾い」「マイクロプラスチックを見てみよう」など子どもと環境についてプロジェクトに取り組む。	2030 年まで毎年度、子どもたちの興味に応じて3歳児から5歳児クラス・児童クラブで各1つつプロジェクトに取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・「園庭をエディブルガーデンに」を継続。園庭で、野菜だけでなく、果実(ブドウ・ミカン・フェイジョア)も収穫できた。 ・継続して、牛乳パックと野菜くずを使って紙すきをする。その紙で、注文があったネームホルダーを作ったり、クリスマスマーケットに出す小物を作ったりして、ゴミのアップサイクルに取り組んだ。 ・エディブルガーデンの野菜を使って炊き出し(さくらうどん)訓練実施(地域の方と合同で避難訓練をした後) ・昨年度の4歳児のクラスは5歳児なった今も、五色浜のプラごみ拾いを継続して取り組んでいる。
環境 社会 経済	子どもの貧困・不登校・引きこもり問題など地域の課題に取り組む。	2030 年までに貧困家庭・不登校・引きこもりなどの子どもの居場所事業を立ち上げる。	登校することに困難を感じている中学生への関りを深め、さくらバザーではボランティアとして一緒に活動した。
環境 社会 経済	子どもがおいしく喜んで食べられるように給食の質・量の改善に取り組み食品ロスを減らす。	食品ロスを 15%から 5%に	・給食の質の向上・量の適正化により、およそ 5%を達成
環境 社会 経済	保護者と職員が、子育てと仕事両方に生きがいを持てる支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・セパレート保育(病後・体調不良児等)の実施 ・子育て中も働ける職場環境の整備(産休育休明けに保育士として働く職員の割合 100%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師によるセパレート保育の自主事業の開始、継続 ・R7年度 13名の職員が、妊娠中を合わせて、中学生までの子どもを子育て中。育休職員は3名で今年度復帰予定。結婚・出産のため退職した職員は0 R6年度、子の看護休暇は延べ 40日。

【記載留意点】

- 上記については「SDGs 達成に向けた経営方針等」を記載いただくとともに、(様式第3号)「SDGs 達成に向けた具体的な取組」(要件2)に記載いただいた取組を踏まえ、「SDGs 達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- 指標は、原則として数値目標を記載してください。
- 「環境」、「社会」、「経済」の3側面の全てについて重点的な取組を記載してください。なお取組が複数の分野にまたがる場合は、それぞれの分野に「○」をしてください。
- 重点的な取組及び指標の進捗状況については、新規登録時は記入不要です。
- 重点的な取組及び指標の進捗状況については、年1回以上進捗管理を行い、状況を記載してください。